

研究課題名	テイコプラニン投与の現状調査と適切な投与設計ノモグラムの作成
研究期間	実施許可日 ~ 2030年3月31日
研究の対象	2013年8月26日から2028年3月31日までに、参加研究機関で、テイコプラニンによる治療を受けられた方を対象とします。
研究の目的・方法	研究目的：重症感染症において、テイコプラニンを目標とする血中濃度に到達させる投与設計は非常に重要となります。そこで、血中濃度に影響を及ぼす因子や初期の投与条件との関連を調べ、より適正な投与設計を確立することを目的とします。 研究の方法：本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療科，入院病棟，患者プロフィール（性別，身長，体重，体表面積，年齢），既往歴，現病歴・治療歴，合併症（高血圧，糖尿病，がん，肝硬変等），薬歴，アレルギー・副作用歴，薬剤投与状況・投与日数・検査日，薬剤師の介入内容，投与経路，入院日数，集中治療室在室日数，患者転帰，重症度スコア（SOFAスコア等），体外循環機器使用状況（透析・人工心肺等），入院後の経過，各種検査結果（CT，X線撮影，MRI，エコー，心電図等），血液検査結果，薬物血中濃度，採血時間，採血回数，培養結果，血圧・脈拍数，バイタル（体温等），血液ガス検査結果等および検査に関わる情報（測定機器・実施状況・職種等）
外部への試料・情報の提供	共同研究機関への情報提供は，パスワード設定したエクセルデータ等のメール送信もしくは特定の関係者のみアクセス可能なクラウド（ProselfやGoogle Driveなど）で共有します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2018年8月2日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する（あるいは各共同研究機関から代表機関に提供する）前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰 本院の研究責任者 広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰 研究機関の長 広島大学 理事 田中純子

	<p>共同研究機関 大阪医科薬科大学病院 薬剤部 薬剤師長 山田 智之 熊本大学病院 薬剤部 准教授・副薬剤部長 尾田 一貴</p>
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5579 広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者) 薬剤師 片岡 達夫 (研究担当者)</p>